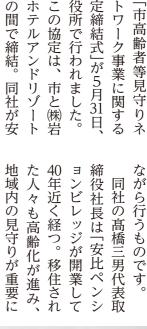
高齢者等見守り事業の協定が結ばれる 市と㈱岩手ホテルアンドリゾート間で

比ペンションビレッジ周 辺における高齢者などの との間で締結。同社が安 手ホテルアンド 協定締結式」が5月31日、 見守り活動を市と連携し 市役所で行われました。 この協定は、 ク事業に関する 市と㈱岩 リゾ

同社の髙橋三男代表取 移住され

ながら行うものです。

表取締役社長(右)と田村正彦市長調印した協定書を手にする髙橋三男代



なっている。市と情報共 地域内の見守りが重要に

化したい」と述べました。有しながら取り組みを強 市高齡者等見守



浅沢地域振興協議会が義援金を寄付熊本震災から1日も早い復興を願い

市役所を訪れ「震災から 佐藤会長は6月27日、

金を募った。少しでも熊て、地域で協力して義援 手渡しました。 田村正彦市長に義援金を ことを祈っています」と 本地震被災者の役に立つ

赤十字社岩手県支部八幡 義援金は同日、 市(日本

浅沢地域振興協議会

した。 日本赤十字社に寄付しま 地震災害の義援金として 500円を平成28年熊本 域で集めた募金76, (佐藤三郎会長)は、 地

1日も早い復興を願っ

議会佐藤三郎会長、佐藤利栄事務局長手渡す(右から2人目)浅沢地域振興協田村正彦市長に熊本地震災害義援金を

十字社に送られました。 市地区)を通して日本赤

森 寛子 さん

「人権について、私も学び ながら、皆さんのお役に立て ればと思っています」

市人権擁護委員

村瀬誠さんが再任 森寛子さん新たに選任

ご覧になるか、 住民係(☎・内線1062)まで。 お知らせ版暮らしのカレンダー など詳しくは、広報はちまんたい 月30日までの3年間です。相談日 任期は、7月1日から平成3年6 任3期目で、森さんは新任です。 委嘱されました。村瀬さんは、 さん(8)=柏台=、 に応じる人権擁護委員に、 (62)=五百森=が、法務大臣から 人権に関する悩み事などの相談 市役所市民課戸籍 森寛子さん 村瀬誠 を

村瀬 誠 さん

「住民目線で人の気持ちを 理解したい。悩む前に気軽に 相談してほしいです」

田村市長より辞令交付を受けた新地域おこし協力隊員の2人 (左・玉木陽子さん、右・阿部文子さん) インタビュー

農と師の大地

1

部

Ab e

11月11日本11日日

昭和54年生まれ。盛岡市 経て、ヨーロッパアン ティーク業に携わった 経歴を持つ。現在、市地 域おこし協力隊員とし

て安比高原ふるさと倶

報提供お待ちしています。

携わったこともここで活環境保全プロジェクトに などの食材も豊富で、 とってもおい 力的に感じました。 いで自然が豊か。 八幡平市は、 風景がき 野菜 毎日を過ごしてい

比高原での馬を活用した上げました。昨年度、安

上げました。

物件を探しています。

ため、活動していきます。 の活用を通して夢実現の る八幡平市。ここで、 景観、自然、食材を有す

協力隊員として名乗りを 市に魅かれ、地域おこし る可能性を秘めた八幡平

現在、

馬を飼える居住

ました。 平市によく立ち寄ってい に関東から東北方面に通 趣味の温泉巡りで、 に住む祖母の介護のため っていました。その途中、 数年前、秋田県大館市 八幡

と阿部文子さん(盛岡

市出身)に田村正彦市

2人を激励しました。 てほしい」と新隊員の

動物、

人が共生できる場

との共通性を見い出した

に魅了され、

岩手のそれ

欧州在住時、

馬事文化

ことをきっかけに自然と

なりました。

欧州に匹敵する美しい

動を続ける大きな要因と

所作りを行いたいと思い ました。それを実現でき

ん(東京都文京区出身)

となった玉木陽子さ

験を生かしながら、 と。そして今までの経 市の環境に慣れるこ

そ

れぞれの部署で頑張っ

式では、新しく隊員

で行われました。

協力隊員辞令交付式

ました。

田村市長は「まずは

長から辞令が交付され

6月1日に市役所

28年度市地域おこし

新メンバー2人を迎える

T

昭和52年生まれ。

タ・プログラマー)、飲

経歴を持つ。現在、市地

域おこし協力隊員とし

て市観光協会に勤務。

文京区出身。

関東圏で

市地域おこし協力隊

と、思い、 現在、市観光協会でス こし協力隊の道を選びま を知ることからと地域お 経 八幡平市の文化 した。 ここでカフェを開きたい」 現在、 験を生かして「 飲食業に携わってい まずは八幡平市 いつか た

土を知るために、